

ようこそ『習志野高等学校』へ



習志野市立習志野高等学校は、昭和29年(1954年)、千葉県下16番目の市として誕生した習志野市の初代市長であります白鳥義三郎氏が、本校の創設に尽力され、昭和32年(1957年)に県下2番目の市立高校として創立された、普通科と商業科を併設する学校です。今年で創立63年目を迎えます。同窓生の数は、22,000名余りにのぼり、千葉県内はもちろん全国でも活躍しています。

今年度は、地元の習志野市はもちろん、千葉県全域から320名の新入生を迎え、全校生徒957名でスタートしました。

ここで本校の教育目標をご紹介します。

- (1) 文武両道の伝統を継承し、豊かな人間性と社会を逞しく生きる力を育成する。
- (2) 体・徳・知のバランスのとれた人材を育成する。

そのために本校では、生徒の失敗を恐れず何事にもチャレンジする姿勢、「ナンバーワン」を目指すひた向きの努力、「オンリーワン」の志の実現に向けての真摯な努力を大切にし、これまでの伝統を継承しながら新しいものも取り入れた教育実践に努めております。まずは教職員が「範」なり、生徒を導いていきます。

ここで本校の特色を二つ紹介いたします。

まずは進学実績です。

昨年度の大学・短大・専門学校への進学率は90.1%で、そのうち四年制大学への進学は73.1%となりました。学校での学習や部活動等を頑張っている生徒が多く、指定校推薦入試等で合格する生徒が多いですが、一般入試でも頑張っています。一人一人の進路実現に向けて、教職員が親身になって対応しています。

二つ目は部活動です。

運動部では、これまで硬式野球部、サッカー部、ボクシング部(団体・個人)、男子バレーボール部、男子バスケットボール部、剣道部、柔道部(個人)が全国制覇を成し遂げています。また、硬式野球部が第91回選抜高等学校野球大会(平成31年3月23日~4月3日)で準優勝を果たしました。体操競技部も全国大会で活躍しているように、すべての部活動が県内でトップレベルであり、更なる高みを目指し、日々厳しい練習を積み重ねています。

文化部では、全日本吹奏楽コンクール大会や全日本マーチングコンテストでの金賞受賞の常連である吹奏楽部をはじめ、美術部、生物部、演劇部、書道部、文芸部、軽音楽部、商業部、茶道部、手芸同好会が、日々一所懸命に活動しています。

本校の部活動は、最善を尽くし、結果を求める過程を大切にするとともに、社会で生き抜くための人間教育も行っています。今年度も、部活動を通じての生徒の成長が楽しみです。部活動の更なる活躍に期待します。

習志野高等学校は、創立当初から脈々と受け継がれてきた「習志野の王冠たれ」「雑草の如く逞しく」「文武両道」の精神を今後も継承し、これからも全国にその名を轟かせます。

このホームページをご覧いただいている皆さまの、本校教育に対する一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、中学生やその保護者の皆様には、是非一度、本校に足をお運びいただき、活気に満ち溢れ、生徒が生き生きと活動している学校の様子をご覧ください。